

目標値案の設定について

各指標（指標数 28）に対する目標値案（目標値案数 29）および設定の根拠等については、次の表のとおりである。

なお、同表において網掛けによる記載をしてある箇所は、策定中である第四次長野市総合計画後期基本計画と共通する指標、目標値である。

目標値案および設定の根拠等一覧表

基本目標	コード	指標	現状値 (H22年度)	目標値 (H28年度)	設定根拠（設定方法）	指標の出典	担当課
1 循環型社会の構築	11	ごみの年間総排出量	133,179 t	129,140 t	家庭系での排出量+事業系ごみ排出量+ 集団回収量 (家庭系及び事業系ごみの削減により、 平成28年度の排出量を129,140トン以下 にする。)	長野市一般廃棄物 処理基本計画 (H23.3策定)	生活環境課
	12	市民一人一日当たりの 家庭系ごみ排出量	568 g	548 g	家庭系ごみ排出量（集団回収を除く）/ 計画収集人口 (各年度の排出量を対前年比で約2% 削減し、平成28年度の一人一日当たり の排出量を548g/人・日以下にする。)	長野市一般廃棄物 処理基本計画 (H23.3策定)	生活環境課
	13	事業系ごみ年間排出量	38,879 t	39,200 t	各年度の排出量を対前年比で約1%削 減し、平成28年度の排出量を39,200ト ン以下にする。[一般廃棄物処理計画の 基準年度は平成20年度] (事業系ごみ排出量は、社会情勢や景気 の変動におおきく影響されるため、過 去7年間（平成15～21年度）の実績の推 移を踏まえ、排出量の多いH15.16年度 実績及び減少率の大きいH20.21年度実 績を除き、H17～19年度毎の実績を基に H28年度の目標値を予測している。(H22 年度実績は、社会的情勢や景気動向の 影響によるもの) 事業系生ごみ年間排出量の実績 H15:53,339 t H16:52,064 t H17:50,100 t H18:48,301 t H19:46,841 t H20:43,582 t H21:42,017 t	長野市一般廃棄物 処理基本計画 (H23.3策定)	生活環境課
	14	ごみのリサイクル率	28.9%	29.9%	(資源化量+集団回収量) / (ごみ収集 搬入量+集団回収量) (ごみ量の削減及び分別の徹底（可燃 ごみに含まれる資源物の混入率を改善 ）により、対前年比で約0.3ポイント 改善し、平成28年度の数値を29.9%以 上にする。)	長野市一般廃棄物 処理基本計画 (H23.3策定)	生活環境課
	15	家庭系可燃ごみに占め る生ごみの割合	46.2%	50%	可燃ごみに含まれる生ごみの割合[家庭 系可燃ごみ袋中、資源物及び不燃物を 除いた内容物に占める生ごみの割合]を 現状より15%削減し50%を目標とする。 (年度ごとにばらつきがあるため、H28 年度目標値についてはH17～22年度の6 年間の重量比の平均値58.8%を基準と して、50%を目標値とするもの。 [58.8%×(100-15)/100=50%]) 家庭系可燃ごみに占める生ごみの割合 の実績 H17:64.3% H18:54.9% H19:50.9% H20:56.6% H21:68.4% H22:46.2%	長野市一般廃棄物 処理基本計画 (H23.3策定)	生活環境課
	16	家庭系可燃ごみ中の資 源物の混入率	20.1%	17.4%	可燃ごみに含まれる資源物の割合を現 状より約15%削減する。	長野市一般廃棄物 処理基本計画 (H23.3策定)	生活環境課
	17	ながのエコ・サークル 認定件数 (累積認定件数)	232件	262件	H22以降、年間認定件数を5件と推計 ※事後審査型一般競争入札（総合評価 落札方式）における評価点項目とされ たため、近年認定件数は増加傾向に あったが、H21以降は認定件数の伸びが 鈍化してきている。よってH22以降は毎 年5件程度を見込むもの H21実績（216件）+7ヵ年（H22～28 年）×5件=262件	長野市一般廃棄物 処理基本計画 (H23.3策定)	生活環境課

基本目標	ロード	指 標	現状値 (H22年度)	目標値 (H28年度)	設定根拠 (設定方法)	指標の出典	担当課
2 良好な生活環境の確保	21	大気環境基準達成率	76.47%	77.78%	過去の状況を踏まえるとOX局の達成が難しいことから、他の14局の達成による現状維持を目標値とする。 14局÷18局 (延べ)	長野市環境基本計画後期計画 (H18.10策定)	環境政策課
	22	市内中小13河川のBOD平均値	1.7mg/l	2.0mg/l	市内中小河川の水質分析を実施しており、22年度測定平均値について1.7mg/Lであったが過去5年間1.7~3.2mg/Lと変動が著しく、長野県が定めた「主要河川・湖沼水質基準類型指定」に基づく市内の河川環境基準点での環境基準値を目標値とするもの。	長野市環境基本計画後期計画 (H18.10策定)	環境政策課
	23	汚水処理人口普及率	91.7%	99.4%	平成23年3月策定の「長野市下水道10年ビジョン」において、平成29年度末の汚水処理人口普及率100%を目標と定め整備を進めている。平成28年度は、ビジョンより汚水処理施設の利用可能人口÷総人口=99.4%を目標値とする。	長野市下水道10年ビジョン (H23.3策定)	下水道建設課
	24	ポイ捨て吸殻本数 (月平均本数：長野大通り10か所)	106本	70本	長野大通り10箇所毎月1回調査実施、調査1回当たり平均合計本数 実績値及び条例施行に伴う啓発活動の強化を踏まえ、過去5年間の傾向を考慮し、現状値約3割減を目指す。106本 (H22実績) × (1-30%) = 74本を目標値とする。	長野市環境基本計画後期計画 (H18.10策定)	環境政策課
3 質の高い自然環境の確保	31	ホテルを見かけること がある市民の割合 (市民アンケート)	18.2%	30%	過去5年間の実績の傾向としては、ほぼ横ばいの状況であるが、関連施策の取組を推進し、中山間地域の実績値である30%を市域全体での目標値とする。	まちづくりアンケート	環境政策課
	32	間伐面積 (累積面積)	3,873ha	5,700ha	国の制度改正により切捨て間伐から搬出主体の間伐へとシフトしていく。切捨て間伐に比べ搬出間伐は実施面積効率が高いため現状の切捨て間伐面積 (130ha) を基準とし、毎年30haの増加を見込む。また、切捨て間伐については年間50haを見込む。	新規	森林整備課
	33	森林体験参加者数 (年間人数)	2,772人	2,500人	平成23年度から高原学校の日程が3日→2日へ短縮に伴い、時間の制約から森林体験を断念する学校があり、昨年比400人余減の見込みとなる。基準値を本年度見込みの2,300人とし1割増を見込む。基礎数値 (昨年実績) 2,772-400≒2,300 努力目標 H23→H28 110% 1割増を目標 平成28年度目標 2,300人×1.1=2,530≒2,500人	新規	森林整備課
	34	新規就農者数 (年間人数)	25人	30人	平成23年度から新たに「新規就農者支援事業」を実施しており、既存の奨励金支給事業を含め、毎年30人の新規就農者の確保・育成を目指す。	長野市産業振興ビジョン (H19.3策定)	農政課

基本 目標	コード	指 標	現状値 (H22年度)	目標値 (H28年度)	設定根拠 (設定方法)	指標の出典	担当課
4 豊かで快適な環境の創造	41	市民一人当たりの都市公園面積	7.29㎡	8.2㎡	「長野市緑を豊かにする計画」の目標(平成38年度における市民一人当たり都市公園面積10㎡)の中間計画値	長野市緑を豊かにする計画(H12.4策定、H21.4改定)	公園緑地課
	42	多自然型河川の整備延長(累計)	4,106m	4,300m	平成22年度の実績に、まちなみ環境整備事業に位置付けられている小鮎川の整備計画等の増分を見込み目標値とする。	都市再生整備計画(H22.3策定)	河川課
	43	土地区画整理事業施行済面積(累計)	784.3ha	858.8ha	公共施設及び宅地の整備により、豊かなみどりや景観など快適な環境の創出を図る土地区画整理事業の施行実績値を目標値とする。	長野市都市計画マスタープラン(H12.3策定、H19.4改定)	区画整理課
5 低炭素社会の構築	51	温室効果ガス年間排出量	2,395千t (H19年度※)	2,115千t	長野市地球温暖化対策地域推進計画に定めるH32年の目標値であるH17年度比15%以上の削減に向け、2,115千t(-11%)を見込む。 ※排出量については、各種統計資料の年報値が出揃ってから算出するため、各年度において把握が可能なものは、3年前の値となる。	長野市地球温暖化対策地域推進計画(H21.12策定)	環境政策課
	52	一世帯当たりの温室効果ガス年間排出量	4.77t (H19年度※)	4.45t	長野市地球温暖化対策地域推進計画に定めるH32年の目標値であるH17年度比15%以上の削減に向け、4.45t(-11%)を見込む。 ※排出量については、各種統計資料の年報値が出揃ってから算出するため、各年度において把握が可能なものは、3年前の値となる。	長野市地球温暖化対策地域推進計画(H21.12策定)	環境政策課
	53	太陽光発電設置件数及び設備規模(住宅用)(累計)	3,044件	9,600件	長野市地球温暖化対策地域推進計画に定めるH32年の目標値である14,000件への導入(普及率15%)に向け、H28年には9,600件の導入(普及率10.3%)を見込む。	長野市地球温暖化対策地域推進計画(H21.12策定)	環境政策課
			11,982kw	38,000kw	長野市地球温暖化対策地域推進計画に定めるH32年の目標値である53,200kwへの導入(普及率15%)に向け、H28年には38,000kwの導入(普及率10.7%)を見込む。		環境政策課
54	太陽光発電設備規模(公共施設・事業所等)(累計)	749kw	3,000kw	長野市地球温暖化対策地域推進計画に定めるH32年の目標値である30.0%に向け、H28年には実績値の伸び率を考慮して15.0%を見込む。	長野市地球温暖化対策地域推進計画(H21.12策定)	環境政策課	

基本目標	コード	指 標	現状値 (H22年度)	目標値 (H28年度)	設定根拠 (設定方法)	指標の出典	担当課
5 低炭素社会の構築	55	エコカー登録率 (推計)	2.6%	15%	長野市地球温暖化対策地域推進計画のH32年の目標値である30.0%に向け、H28年には実績値の伸び率を考慮して15.0%を見込む。	長野市地球温暖化対策地域推進計画 (H21.12策定)	環境政策課
	56	バイオマス熱利用導入数 (ペレットストーブ・ペレットボイラー) (累計)	113台	200台	現在検討中の次期産業振興ビジョンでは、補助交付件数を目標として設定予定である。そこに、市有施設への導入見込み等を加味し、目標値を設定	長野市産業振興ビジョン (H19.3策定)	環境政策課 森林整備課
	57	木質ペレット年間生産量	130 t	520 t	(56)バイオマス熱利用導入数で想定した施設における使用量見込みにより目標値を設定する。	新規	環境政策課 森林整備課
6 市民・事業者・行政の連携強化と人づくりの推進	61	ながの環境パートナーシップ会議の環境保全に関する年間取組件数	238件	266件	環境保全(プロジェクト)活動取組件数の増加を目指す。プロジェクト数を1年に1つ増加させ、H28には、H22の14から5増の19とすることで、年間266件の取組件数を見込む。よって、19プロジェクト×14件(各プロジェクト年間平均取組件数)=266件を目標値とする。	新規	環境政策課
	62	マイバッグ持参率	46%	60%	レジ袋の削減は、「ながの環境パートナーシップ会議」の中で進めている。現在は、年度は定めず、当面マイバッグ持参率60%を目指していくこととしている。60%は、県の「レジ袋削減県民スクラム運動」の目標値を採用している。	長野県におけるレジ袋削減のための協定	環境政策課 生活環境課
	63	環境学習会年間参加者数	2,425人	3,100人	第二次計画では、現計画の環境政策課主催に、新たに地区公民館主催の環境学習会を加える。環境政策課主催参加者数：実績値を踏まえ、過去5年間の平均(167人)の2割増である200人を見込む。地区公民館主催参加者数：現状値を踏まえ、各公民館年間平均参加者数(77人)の3割増である100人を見込むことで、2,900人(100人×29公民館)の年間参加者数を見込む。よって、合算し、3,100人を目標値とする。	長野市環境基本計画後期計画 (H18.10策定)	環境政策課